

若松公民館だより

〒264-0021 千葉市若葉区若松町2117番地の2 電話 043-231-7991

本紙は若松中、小倉小、若松小、若松台小、第32地区町内自治会に配布しています。



HP

若松公民館の館長としての勤務が5年目を迎えました。今年度もよろしくお願いいたします。4月1日に公民館館長研修会に参加しました。講師の廣瀬隆人氏（一社とちぎ市民共同研究会代表理事）はエネルギーで、声も話し方もどこか綾小路きみまろさんをイメージさせ、話にどんどん引き込まれました。特に印象に残ったことは、

- 公民館は友達を作る場所であり、知人や友人を増やす活動を「地域づくり」という。地域づくりは人づくりでもある。
- 公民館は、地域づくりのための接着剤の役目を担っており、接着方法としてサークル活動や講座、文化祭などが行われている。
- 人のつながりを作っておくことで、高齢で1人暮らしになっても安心して暮らせる。
- 悩みを言える友人がいれば、困りごとを解決できる。困りごとの多くは、地域が団結すれば解決できる。
- 助けたり助けられたりという関係は、お互いの心や気持ちを安定させる。

という話で、「嬉しいこと、美味しいこと、好きなこと、楽しいことを接着剤に、地域や人のつながり作りをすることが公民館の究極の使命である」という内容に、深く共感しました。

さて、若松公民館の今年度の目標は、「学習を生かした活力あるコミュニティづくり」ですが、以下の3点を重点課題としました。1点目は「地域の資源・人材の発掘と活用」です。例年、坂月川愛好会を講師に招いて行っている「坂

月川親子生き物教室」は四季の自然を学ぶ内容に充実させました。また、坂月川愛好会が出版する本の挿絵を手がける動物イラストレーターのさばまるさんを講師に、夏休み子どもイラスト教室を開催します。2点目は「継続的な学びの支援」です。健康教室やフレイル予防教室、サークル体験会を計画しています。いずれも複数回行い、継続的な活動に発展する機会を提供します。3点目は「若い世代の利用を高める親子対象の事業の充実」です。前掲した自然教室を始め、COCOPORTA（里親子・縁組養育支援団体）によるアートワークショップや工作教室、料理教室を開催します。公民館を地域の仲間づくりの場として使っていただければ幸いです。

公民館では多くのサークルが新たな仲間を募集しています。何かやってみたい、スキルアップしたいとお考えの方は、公民館においでください。既存のサークルを紹介することもできますし、ご自分で仲間と新たなサークルを立ち上げることも可能です。ぜひやる気のお手伝いをさせていただきたいと思います。

当館は図書室を併設しています。地域の知の拠点として約2万冊の本を所蔵しており、毎年新たな本を購入して入替えを行っています。千葉市の図書館や他の公民館図書室の本を取り寄せることもでき、多くの方にご利用いただいています。公民館にいらしたことがない方は、どんな本があるのかなという気楽な気持ちで一度来館してみたいかがでしょうか。



館長 伊藤 直樹

若松公民館クラブ等連絡協議会

秋の文化祭に向けて始動！

4月21日（月）に総会が開催されました。「若松公民館クラブ等連絡協議会」は、若松公民館を利用するサークルの有志からなる団体で、地域の発展を目的に活動しています。総会では、昨年度の事業や収支報告があり、新役員の選出が行われました。また、文化祭は、10月4日（土）・10月5日（日）に開催することが決定しました。新役員の皆様にどうぞご協力をお願いいたします。



◀令和7年度の新役員の皆様

【左から】書楽会・広信さん（書記）／若松空手クラブ・純子さん（会長）／若松混声合唱団・千秋さん（副会長）・パッチワークキルトサークル・美加さん（会計）

地域の学びは **このような方にも支えていただいています**

千葉市では、社会教育法及び千葉市公民館設置管理条例に基づき、公民館の各種事業の企画実施について調査審議を行っています。若松公民館からは、社会教育関係者として、当館の事業にもご尽力いただいている坂月川愛好会会員の優子さんを推薦し、年2回の会議にご出席いただいています。会議の議事録は千葉市のホームページでもご覧いただけます。

11ヶ月3月の公民館講座報告

3年目3回目の開催！絵本の会によるお話しは大盛況

11月26日、市内の保育園や子育てサークルで読み聞かせの活動をしている絵本の会が「大人のためのお話し絵本・語り・紙芝居」を開催しました。何度もありハールを行った成果が、「立ち位置やマイクの受け渡しがスムーズで、とてもよかった」「いつも読む側ですが、読んでもらうのは良い気持ち」といった感想が寄せられるなど聴講者の気持ちを満たす公演でした。

お蕎麦や焼き菓子、小学生の調理実習は大盛況！

「袋でモミモミかんたんそばとそば粉のいちご大福作り」(12月8日)には、12組の親子が参加しました。講師の島崎朝美さんは、栄養価の高いそば粉の普及に努められており、後進の指導にも熱心です。当館は、親子対象の催事を多く開催していますが、「そば」となるとお父さんやおじいちゃん

の参加率が高く、「料理することが意外と好きだったかもしれない」という嬉しい反応がありました。翌週の12月14日は「スノーボールとゼリー作り」を開催。小学1年から6年生までの32人がお菓子作りに挑戦しました。講師の娘のーさんも助手として参加者の体験をサポート。最後の振り返りでは「ーさんとお話したことが一番楽しかった」という子がいるなど、チームで協力して、可愛くラッピングしたお菓子を持ち帰りました。

0才から95才までが参加 心弾む打楽器コンサート

「とすぽすと」は音楽の専門学校時代の同級生で結成されたパーカッションアンサンブルグループです。メンバーの細川真実さんが若松中学校の吹奏楽部を週1回指導されているご縁で当館での出演が実現しました。



9回目となる歴史愛好家の広瀬正一さんによる歴史講座(3月2日)には、定員を上回る約30人の応募がありました。来年の開府900年を前に、千葉氏と千葉開府と千学集(せんがくしゅう)について史料をもとに考えました。「定説を疑う」という姿勢に共感する声も多く寄せられました。

細川さんの演奏者としての顔を見て、中学生も刺激を受けた様子。「音楽が好きだからどんな反応を示すのか楽しみ」と参加してくれた幼児も体を揺らしながら聞き入っていました。大きな会場での単独公演も行う「とすぽすと」ですが、「アットホームな雰囲気があった」と公民館でのパフォーマンスを楽しんでくれたようです。



サークル紹介



幼児とご家族を対象とした子育てサークルびーなっから派生した小学生サークルです。「学校以外にも友達の輪を広げてほしい」というママパパの

思いから2年前に発足しました。遊びながら英語を学んだり、ハロウィンやクリスマスなど、みんなでイベントの準備をしてパーティーを開いたりします。今年度は6月7日(土)午後1～4時の夏祭りをスタートに年4回開催。畑名人の協力から「ポテトプロジェクト」も立ち上げました。いずれも事前申込制で、定員になり次第、募集を終了します。詳細は館にあるチラシをご覧ください。

★★★★★★

参加費は1回につき一人600円です。
【問合せ】コウサカ 090-1402-3514

2月27日には、当館で主催事業などにご尽力いただいている坂月川愛好会と絵本の会の会員の方と館職員でさわやか県民プラザ主催の「生涯学習・社会教育実践研修交流会」にオンラインで参加しました。